

No.	質問	回答
1	鎌倉の魅力と、観光推進策の方針を教えてください。	<p>鎌倉は、様々な時代の社寺や建築、文化といった歴史的遺産が豊富に混在し、また、都心部と距離が近く生活都市としても発展している多様性が魅力です。鎌倉市で制定した「第3期鎌倉市観光基本計画」では、この魅力を踏まえ、市民にとっても観光客にとっても「住んでよかった」「訪れてよかった」と思えるような質の高い観光施策を推進しています。</p> <p>【参考_市ホームページより「第3期鎌倉市観光基本計画」】 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankou/2016kihonkeikaku.html</p>
2	鎌倉は観光客誘致に取り組んでいますか？	<p>鎌倉では、日帰り観光客が日中に多く来訪し、特定の地域に集中することで混雑や渋滞を引き起こしていることが課題となっているため、観光客の地域的、及び時間的分散化の対策を行っています。そのため、観光客数を誘致するのではなく、来訪する観光客の満足度の向上など、質の高い観光の提供を目指しています。</p>
3	他の観光地と差別化するために行っている施策はありますか。	<p>鎌倉のまちづくりの特性に適した施策を講じており、他の観光地と比較し差別化を図ることは行っていません。「住んでよかった、訪れてよかった」を基本理念とし、鎌倉の持つ歴史的・文化的遺産のほか、多様な魅力や価値を備えた「成熟した観光都市」の実現を目指しています。</p>

No.	質問	回答
4	<p>少子高齢化により高齢者の数が急増する中で鎌倉はどのような観光対策をしていますか？</p>	<p>「誰もが安全で快適につつまなく鎌倉で学び楽しめるように観光客を受け入れること」を目標に施策を行っております。高齢者に関しては、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した地図の作成や観光施設、及び公衆トイレの改修を行い、受入環境の整備を行っております。</p>
5	<p>「鎌倉市公共の場所に関するマナーの向上のための条例」をどのような方法で周知していますか？</p>	<p>当該条例の内容をわかりやすく表現したチラシの作成、既存の観光パンフレットや市内観光案内板への掲載、及びホームページやTwitterでの条例の趣旨に関する発信を行っております。</p>
6	<p>「鎌倉市公共の場所に関するマナーの向上のための条例」の施行後どれぐらい効果がありましたか？</p>	<p>当該条例は、禁止・規制をするものではなく、観光客のみならず、住民や勤務者も含めたすべての人が意識することで、お互いに過ごしやすいまちを目指す理念条例として制定しましたが、それゆえに目立った効果があがっていないのが現状です。周知を強化することで、効果が上昇することは期待できますが、それにより観光客が息苦しさを感ずることも考えられるため、そのバランスに十分に配慮しながら、段々と周知させていこうと考えています。</p>

No.	質問	回答
7	<p>「鎌倉市公共の場所に関するマナーの向上のための条例」が理念条例であることによるメリット・デメリットを教えてください。</p>	<p>メリット)法的根拠に基づくことなく、行政の方針を「お願い」として呼び掛けることで、罰則といったネガティブな拘束力を強制的に行使することなく広く周囲に道徳ある意識の醸成を図ることが可能です。 デメリット)理念条例であることから拘束度が低く、認知度の向上やルールの遵守の促進に時間を要します。</p>
8	<p>今まで実際に発生したオーバーツーリズムに関する影響はなんですか？</p>	<p>混雑・渋滞により、それを加味した生活(平日よりも土日は早く出発しなくてはならない、最短距離ではなく遠回りをしたほうが早いなど)を強いられている点や、混雑地域の周辺住民の方はごみのポイ捨て、話し声による騒音などの問題にも直面していると考えています。観光客にとっても、混雑により計画していた通りの観光ができないことが満足度の低下に繋がっていることが確認されており、マナーの悪い客層については、同じ観光客からも苦情をいただくことがあります。</p>
9-1	<p>オーバーツーリズムへの対策方法を教えてください。</p>	<p>「分散型観光の推進」 鎌倉を訪れる観光客の傾向として、鎌倉駅東口～小町通～鶴岡八幡宮のエリアと、長谷地域への集中と、日中帯への集中が顕著であるため、これを分散させるべく、比較的混雑していない地域の隠れた名所や、見ごろを迎えた花などの情報を、ホームページやTwitterから発信することで、集中の緩和を図っています。時間的な分散化としては、ホームページで朝まじりの記事や夜の魅力を訴求する記事を展開し、同様に集中の緩和を図っています。</p>

No.	質問	回答
9-2	オーバーツーリズムへの対策方法を教えてください。	<p>「パーク&ライド(パーク&レールライド)」 これは、公共交通機関への転換施策の一つで、観光スポットが集中している鎌倉地域における交通渋滞の緩和を目的として、鎌倉地域の周辺にある既存の駐車場に駐車し、江ノ電等の公共交通機関に乗り換えて目的地に向かってもらう施策のことです。利用された方は、協賛店や寺社等で割引等のサービスを受けることができます。この施策は、4箇所(江ノ電駐車センター、稲村が崎駐車場、七里ヶ浜海岸駐車場、県営由比ガ浜地下駐車場)で実施しています。(2021年1月時点、由比ガ浜地下駐車場のP&Rは休止中です) なお、パーク&ライド(パーク&レールライド)は、例年7、8月は休止(由比ガ浜パーク&ライドは1月1日～3日も休止)しますが、鎌倉フリー環境手形(以下に詳細記載)はこの期間も販売し、車から公共交通への転換を促しています。</p> <p>【参考_市ホームページ】 http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/park_ride.html</p>
9-3	オーバーツーリズムへの対策方法を教えてください。	<p>「鎌倉フリー環境手形」 これは、公共交通機関への転換施策の一つで、鎌倉地域内の観光スポットを広くカバーした5つの路線バスと指定区間を運行する江ノ電が一日自由に乗り降りできるお得なフリーきっぷのことです。このフリーきっぷによって、鎌倉地域内の移動の利便性を向上させ、出発地からの公共交通利用を促し、鎌倉地域の自動車交通量を削減することで、交通環境の改善を図る狙いがあります。</p> <p>【参考_市ホームページ】 http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/kankyotegata1.html</p>
9-4	オーバーツーリズムへの対策方法を教えてください。	<p>「(仮称)鎌倉ロードプライシング」 ※検討中 鎌倉の観光拠点である鎌倉駅を周辺としたエリア(鎌倉地域)に流入する車両に対して課金することで、地域内の交通量をコントロールし、交通渋滞を解消させることを目的として検討している施策です。現在は、国土交通省からの支援も受けながら、導入に向け検討を進めています。</p> <p>【参考_(仮称)鎌倉ロードプライシングや短期的な施策について、第3回鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会(令和2年1月8日開催)での審議を経て、鎌倉市から国土交通省に対し、技術的な支援を求めるため提出した要望書】 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/documents/0115yobosyo.pdf</p>

No.	質問	回答
9-5	オーバーツーリズムへの対策方法を教えてください。	<p>「江ノ電鎌倉駅西口改札における社会実験(沿線住民の優先入場)」ゴールデンウィーク等の江ノ電混雑時における沿線住民等の移動円滑化を図るため、江ノ島電鉄株式会社の協力のもと、沿線住民等が鎌倉駅構外に並ばずに駅構内に入場できるようにするための社会実験です。本社会実験では、市が事前に発行した江ノ電沿線住民等証明書を提示することで、改札口の外の行列に並ばずに駅構内に入場し、構内の行列の最後尾に並ぶという仕組みになっています。</p> <p><u>※本社会実験は、オーバーツーリズム自体の解消が目的ではなく、オーバーツーリズムによる市民生活への影響を軽減することを目的とした取組となります。</u></p> <p>【参考 2017年の実験結果】 http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/documents/enodensyakaiikkenn2017.pdf</p> <p>【参考 2018年の実験結果】 http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/documents/enodensaisvu.pdf</p> <p>【参考 2019年の実験結果】 http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/documents/enodensyakaiikkenn2019.pdf</p>
10	年間の観光客数や消費額の推移を教えてください。	<p>年間の観光客数調査や年間4回の対面アンケートを行い観光客数の公表や消費額の推計を行っています。観光客数については、延べ観光客数、実観光客数、宿泊客数、日帰り観光客数、消費額については宿泊費、飲食費、土産代、交通費等を冊子「鎌倉市の観光事情」にて公表していますので参考としてください。</p> <p>【参考 市ホームページより「鎌倉市の観光事情」】 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankou/kankoujijou02.html</p>
11	SNSの普及によって起こった観光政策に関するメリット、デメリットを教えてください。	<p>SNSの普及に伴い、鎌倉市においても紙媒体を減らし、TwitterやHPを主として観光情報の発信を行っています。SNSが普及したことで、手軽に情報発信ができることにより、より多様な観光情報の提供が可能となりました。一方で、その手軽さから、誤情報が一度でも発信された場合に瞬時に拡散されてしまうこともあるため、正確な情報発信に努めています。</p>

No.	質問	回答
12	鎌倉の観光市場はどのように変化していくと考えますか。	<p>今後加速する国内の高齢化や人口減少に伴い観光市場が縮小することで観光消費額の減少していくことが予想されます。そのため、観光商品の付加価値の増大や観光客の滞在時間の延伸の実現による消費額の拡大を目指しています。</p>
13	新型コロナウイルス感染症対策として行っていることと、コロナ収束後の経済活性化を見込んで実施する事業はありますか？	<p>訪れる観光客に対する新型コロナウイルス感染症対策と、影響を受けた観光業への支援を並行して行う必要があると認識しています。当該感染症に対する感染予防策については、各関係団体及び来訪者に対して呼びかけを継続して行ってまいります。また、観光課では令和2年4月1日付けで大河ドラマ・オーバーツーリズム担当が新設されました。（現「市民生活部大河ドラマ担当」）2022年に放送が予定されている大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関連した事業を実施予定です。その中で、鎌倉の歴史や文化を改めて来訪者に紹介し多くの場所に訪れていただくことで、観光客の分散と観光業の活性化を見込んでいます。</p>